論文

研究タイトル論文タイトル

ーサブタイトルサブタイトルサブタイトルー

○○ ○○（←氏名を記入）

○○大学大学院○○研究科（←所属を記入）

キーワード：○○○○／○○○○／○○○／○○○

要旨

　本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。

　本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。

　本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。本論文は○○○○について○○○○の観点から論じたものである。

Research Paper

On　the Something, Size 14pt

A Study on the Meaning of Something

○○ ○○（←Name）

Graduate School of ○○,

University of ○○, Doctoral Program in ○○

Keywords： ○○○○／○○○○／○○○／○○○

Summary

In this paper I analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something.

In this paper I analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something.

In this paper I analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something about analyzed the meaning of something about thing about analyzed the meaning of something.

見出しが最上段の場合は上を空けない

　本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。

表1　タイトルは表の上に、ゴシック、サイズ8pt

表

見出しはゴシック体、サイズ9pt

　本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。

見出しの上は1行空ける

　本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。本文の書式は明朝体、サイズは9pt、1行につき25文字、1段につき48行、1ページ全で2400文字。

図

図1　キャプションは図の下に、ゴシック、サイズ8pt

註・引用文献・図版典拠について

　本文中の注記箇所には「註１」のように肩付き文字で表し、文末にまとめて記す註1。本文中の引用箇所には「1）」のように片括弧付きの肩付き文字で表し、文末にまとめて記す。註・引用文献・図版典拠の見出しはゴシック（英文：サンセリフ）、本文は明朝（英文：ローマン）とし、サイズは8ptとする註2。

　本文中の注記箇所には「註１」のように肩付き文字で表し、文末にまとめて記す註1。本文中の引用箇所には「1）」のように片括弧付きの肩付き文字で表し、文末にまとめて記す。註・引用文献・図版典拠の見出しはゴシック（英文：サンセリフ）、本文は明朝（英文：ローマン）とし、サイズは8ptとする註2。

註

註1　○○については○○である。鈴木 2014, ○〇-○○頁を参照。

註2　○○については○○である。

引用文献

1） 著者名, 共著者名：表題, 誌名, 巻, 号, 頁, 発行年

2） 著者名：書名, 発行所, 頁, 発行年

3)　鈴木太郎: 装飾について, 装飾研究, 3巻, pp. ○○‐○○頁, 2014年

4) T. Suzuki, J. Yamamoto, H. Takahashi: Rethinking the Decoration, Journal of Decoration, Vol. 3, pp. 3-15, 2014.

図版典拠

図1　著者名：書名, 発行所, 頁, 発行年

図2　筆者撮影